



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月15日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名  
コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 臼井 敬人 TEL 052-683-3000  
四半期報告書提出予定日 2024年4月15日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,672	6.2	313	157.4	445	100.3	334	79.1
2023年3月期第3四半期	26,997	△2.4	121	△50.1	222	△36.2	186	△24.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	200.01	-
2023年3月期第3四半期	106.23	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,912	12,852	76.0
2023年3月期	15,039	12,306	81.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,852百万円 2023年3月期 12,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	45.00	85.00
2024年3月期	-	40.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.2	290	145.1	400	65.4	280	12.4	167.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,926,900株	2023年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	253,685株	2023年3月期	253,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,673,304株	2023年3月期3Q	1,759,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、コロナ禍からの脱却により、インバウンド増加と国内需要の回復による社会経済活動の正常化が進むとともに、幅広い業種で価格転嫁が進展してきました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、電気代、ガス代の負担軽減策の効果もありましたが、原材料費などの高止まりや、個人消費では物価の高騰を背景とした生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、売上高は、外食需要の回復や、魚価の上昇などの要因により、全体で28,672百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。経常利益は、445百万円(前年同四半期比100.3%増)となり、四半期純利益は、334百万円(前年同四半期比79.1%増)となりました。

今後につきましては、出荷者との繋がりを深め、養殖魚や他魚種の集荷に取り組むなど、自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量減少に対応します。また、持続可能な水産物のサプライチェーンに付与されるマリン・エコラベル・ジャパン (MEL) の認証を取得しており、資源や環境に配慮したサステナブルな水産物の取扱いにも関わってまいります。また、2022年12月に「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」(水産流通適正化法)が施行されました。違法に採捕された水産動植物の流通を防止するため、当社も水産流通適正化法を遵守してまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (卸売部門)

鮮魚は、海水温の上昇や海流の変化といった海洋環境の影響が起因と考えられる漁獲量の減少もあり取扱数量は減少したものの、集荷を強化するとともに、量販店に対する商品の企画提案に取り組んだ結果、まぐろ、帆立貝柱、いわしなどが堅調に推移し増収となりました。

塩冷加工品は、国際的な需要増加や漁獲量減少、円安による仕入価格の上昇といった影響を受けましたが、量販店や小売業者向けの鮭鱈、カニ類などが堅調に推移し増収となりました。

この結果、売上高は28,142百万円(前年同四半期比6.2%増)、営業利益は302百万円(同81.2%増)となりました。

## (冷蔵倉庫部門)

外食産業向け商材に回復がみられ、冷マグロなど超低温冷凍の入庫が順調に推移した結果、売上高は355百万円(前年同四半期比10.6%増)、営業利益は119百万円(同74.1%増)となりました。

## (不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は174百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益は132百万円(同6.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、16,912百万円となり、前事業年度末に比べ1,873百万円(12.5%)増加しました。これは主に、売掛金2,015百万円、現金及び預金1,125百万円、投資有価証券236百万円の増加、商品1,301百万円、有価証券96百万円の減少によるものです。

負債は、4,060百万円となり、前事業年度末に比べ1,326百万円(48.5%)増加しました。これは主に、買掛金820百万円、受託販売未払金97百万円の増加によるものです。

純資産は、12,852百万円となり、前事業年度末に比べ546百万円(4.4%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金354百万円、利益剰余金192百万円の増加によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2023年5月12日発表の通期の業績予想は変更していません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,790,268	4,915,307
売掛金	1,701,388	3,716,453
有価証券	496,020	399,746
商品	3,075,129	1,773,971
貯蔵品	7,218	7,020
その他	12,290	16,255
貸倒引当金	△8,120	△16,414
流動資産合計	9,074,194	10,812,338
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	666,209	655,805
土地	1,955,249	1,955,249
その他（純額）	34,923	28,630
有形固定資産合計	2,656,381	2,639,685
無形固定資産	53,468	41,831
投資その他の資産		
投資有価証券	2,902,099	3,138,694
関係会社長期貸付金	90,000	85,000
その他	961,247	888,368
貸倒引当金	△697,678	△693,015
投資その他の資産合計	3,255,668	3,419,048
固定資産合計	5,965,518	6,100,564
資産合計	15,039,713	16,912,902
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,776,672	2,597,496
受託販売未払金	112,762	210,336
未払法人税等	38,601	61,731
賞与引当金	60,856	24,357
役員賞与引当金	11,805	—
その他	161,485	446,834
流動負債合計	2,162,183	3,340,755
固定負債		
退職給付引当金	300,016	312,999
その他	271,234	406,654
固定負債合計	571,251	719,653
負債合計	2,733,434	4,060,408

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	9,923,614	10,116,056
自己株式	△856,388	△856,718
株主資本合計	11,562,998	11,755,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	743,280	1,097,384
評価・換算差額等合計	743,280	1,097,384
純資産合計	12,306,279	12,852,494
負債純資産合計	15,039,713	16,912,902

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	26,997,433	28,672,770
売上原価	25,736,607	27,171,874
売上総利益	1,260,825	1,500,895
販売費及び一般管理費	1,138,993	1,187,336
営業利益	121,832	313,559
営業外収益		
受取利息	6,924	7,735
受取配当金	77,715	87,605
受取手数料	18,221	17,697
その他	18,522	18,623
営業外収益合計	121,383	131,661
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	20,854	—
雑損失	192	167
営業外費用合計	21,046	167
経常利益	222,169	445,052
特別利益		
補助金収入	49,376	—
特別利益合計	49,376	—
税引前四半期純利益	271,545	445,052
法人税、住民税及び事業税	52,199	125,298
法人税等調整額	32,462	△14,919
法人税等合計	84,662	110,379
四半期純利益	186,883	334,673

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	26,510,777	321,090	—	26,831,867	—	26,831,867
その他の収益	—	—	165,565	165,565	—	165,565
外部顧客への 売上高	26,510,777	321,090	165,565	26,997,433	—	26,997,433
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	97,569	—	97,569	△97,569	—
計	26,510,777	418,659	165,565	27,095,003	△97,569	26,997,433
セグメント利益	166,799	68,501	124,055	359,356	△237,523	121,832

(注) 1 セグメント利益の調整額△237,523千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



Ⅱ 当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに  
収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	28,142,954	355,100	—	28,498,054	—	28,498,054
その他の収益	—	—	174,715	174,715	—	174,715
外部顧客への 売上高	28,142,954	355,100	174,715	28,672,770	—	28,672,770
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	107,560	—	107,560	△107,560	—
計	28,142,954	462,660	174,715	28,780,330	△107,560	28,672,770
セグメント利益	302,315	119,266	132,604	554,185	△240,626	313,559

(注) 1 セグメント利益の調整額△240,626千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社では、当第3四半期累計期間において、不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。これに伴い、特別調査委員会による調査費用(2024年4月8日に調査報告書受領)、過年度決算等の訂正に要する費用等が発生し、当事業年度において、当該諸費用を計上する予定ですが、現時点ではその金額を合理的に見積もることができません。